

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 児童デイサービス ピピ2 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 3月 7日 | | ～ 2025年 3月 14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 3月 25日 | | ～ 年 月 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月25 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | *子どもたちのできるわかるがたくさん用意できている。 ひとりひとりの「できる」「わかる」を見つけ、得意を使って生きていく元気に働く大人になれるように支援をしているところ。 | 日常におもちゃをつかったアセスメントをし、自立課題や生活やコミュニケーションのアイテムなどに反映し、自分で「できる」「わかる」がたくさんある活動を作っている。 お仕事ポイント(トークン)をためてお買い物にいく取り組みが、将来のお給料をもらって好きなものを買うことへとつながるように考えている。 | 今の「できる」「わかる」の積み重ねが、一人ひとりの将来へとつながるようライフプランをイメージして支援を行う。 ご家庭や学校と現状の共有と、将来のイメージの共有を図り、足並みをそろえた支援をしていく。 |
| 2 | *表出コミュニケーション・理解(受容)コミュニケーションのバランスを考えて支援できている。 コミュニケーションや視覚支援に力を入れて取り組んでおり、一人ひとりのスケジュールや各コーナーでのリクエストボードなどがあり、使っている。 | 一人ひとりに合わせたスケジュールを用意している。 「やりなさい」というスケジュールではなく「じぶんの」スケジュールになるよう、リクエストや交渉などのコミュニケーション支援を取り入れたスケジュールになっている。 各コーナーにPECSリクエストボードがあり、それを使ったやり取りができている。 | コミュニケーション支援の研修等を行い、スタッフのスキルアップを図っていく。 家庭でのコミュニケーションにも生かしていただけるように、できたことについて一緒に喜べるような家庭との関係づくりをしていく。 |
| 3 | *活動がわかりやすいコーナーづくりができている。 フロアでの作りだが、10のコーナーを作り、トラジッションコーナーからそれぞれが見渡せ、移動がしやすい作りになっている。 | チームでのミーティングを重ね、必要に応じて再構造化をくりかえし、常に子どもたちの使いやすさやわかりやすさを追及している。 | ミーティング時間の確保をし、子どもたちの困り感にスピーディーに対応していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ・放課後児童クラブや児童館との交流や障害がない子どもと活動する機会 ・地域交流の機会 | 積極的な交流の場は、保護者様から『交流を望んでいない』という声もあり、していないが、長期休みの際には公民館を利用した運動遊びや、お仕事ポイントがたまった時の近所のお店での買い物などが交流の場になればと考えている。 | 事業所の中だけではなく、公園での外遊びやポイントを使ったお買い物、公民館での運動遊びなどで地域交流をしていることをお便りなどを作ってお知らせしていく。 |
| 2 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携を支援する | 働く親御さんが多いこともあり、保護者会などは求められていない現状がある。年に1回程度、保護者とスタッフの勉強会として研修や見学会などを開いている。 | 事業所評価のアンケートから、保護者とスタッフの研修会を参加された方以外は、記憶にない方がおられることが分かったので、お便りなどでお知らせをし、周知していきたいと思う。 |
| 3 | 避難訓練の周知 | 年2回の避難訓練を行っているが、たまたま訓練の日のご利用でない方への報告ができていない。 | お便りやフェイスブックなどで報告や周知ができるようにしていきたいと思う。 |